



ヤニ・シミをがっちりガード

水性反応硬化形ヤニ止めシーラー (カチオン系)

ヤニガード

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
内装仕上の制限なし



水性反応硬化形ヤニ止めシーラー（カチオン系）

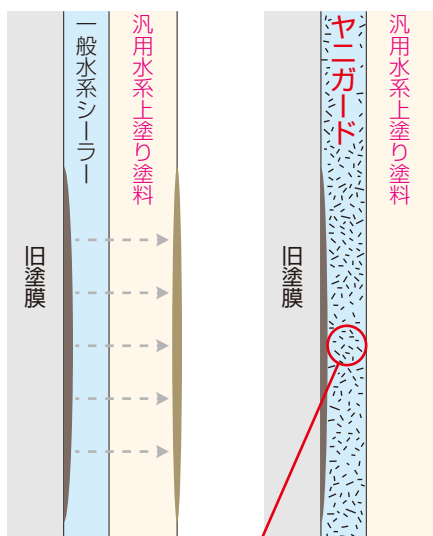
ヤニガード

特 長

- ◎ たばこのヤニ・シミ・手あが・落書きなどのブリード止め効果が抜群です。
- ◎ 結露水などによるシミの再溶出がありません。
- ◎ 水系で、刺激臭もなく塗装環境が向上します。
- ◎ 旧塗膜および上塗りとの付着性に優れています。
- ◎ ホルムアルデヒド放散等級分類は、F☆☆☆☆（規制対象外）です。

一般水系シーラーの場合

ヤニガード
場合



カチオン系成分がヤニ・シミを固着し、また反応硬化による緻密な塗膜でガードします。

たばこのヤニが付着した内壁・天井、手あがでよごれた階段壁、落書きされた壁、雨シミのある天井などを塗り替えた時、このヤニ・シミがブリードしてくることがあります。

汚染物の種類

汚染物	下塗り	上塗り1回目	上塗り2回目
ヤニガード	ヤニガード	ニューモルコン	ニューモルコン

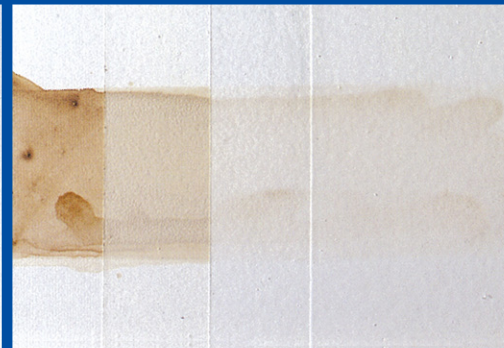
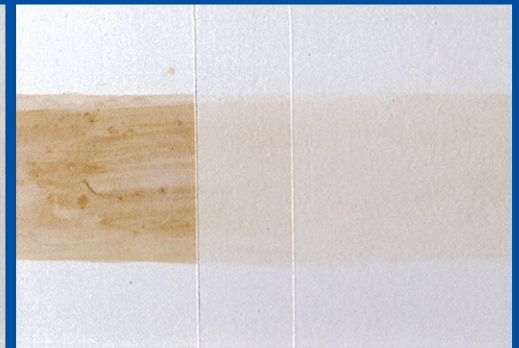
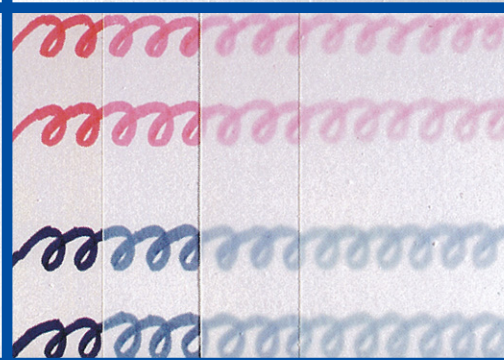
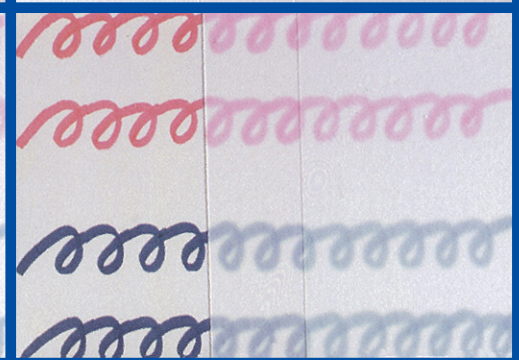
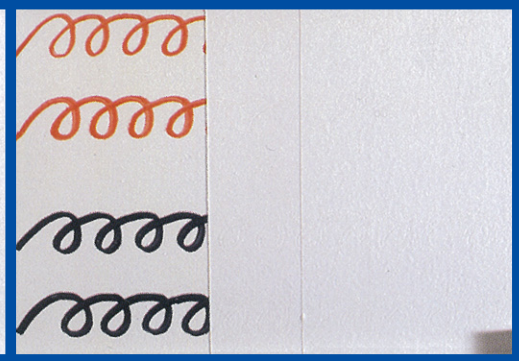
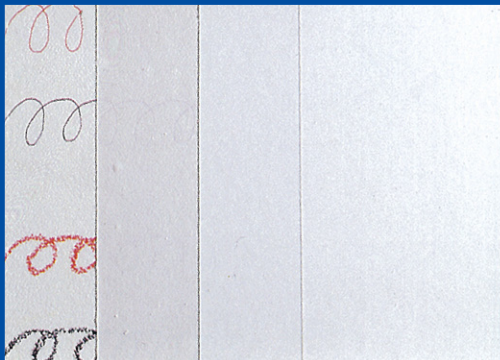
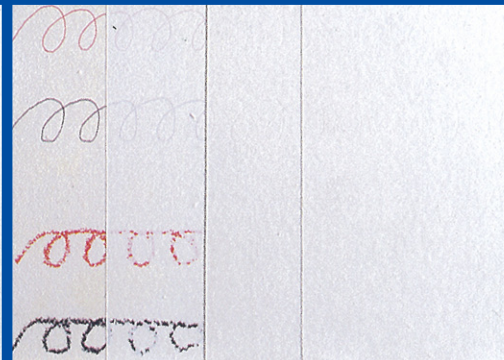
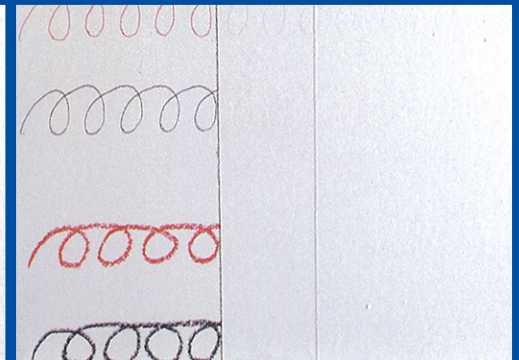
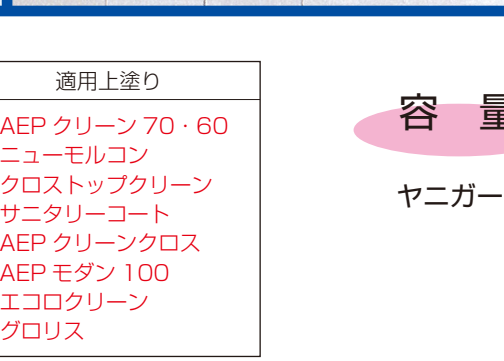
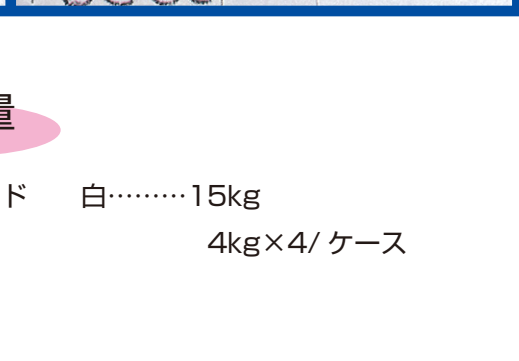
● 汚染物のブリード止め効果



適用範囲

適用範囲	適用素地	適用旧塗
内壁	コンクリート	合成樹脂エマルションペイン
天井	モルタル	つや有り合成樹脂エマルショ
廊下	PC 部材	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
階段部	せっこうボード	合成樹脂エマルション模様塗
上げ裏	ビニルクロス	ターベン可溶アクリル樹脂塗
	合板	

ヤニガードは塗料中のカチオン系成分がヤニ・シミをしっかりと固着させ、さらに反応硬化によりち密な塗膜を形成しますので、結露水などで再びヤニ・シミのブリードを生じることがありません。
 水系で安全性に優れるヤニガードは、低臭で、理想的な強力ヤニ・シミ止め高機能シーラーです。

汚染物				汚染物				汚染物 (下塗りなし)		
下塗り		上塗り1回目	上塗り2回目	下塗り		上塗り1回目	上塗り2回目	上塗り1回目		上塗り2回目
ヤニガード		AEPクリーン70	AEPクリーン70	一般系シーラー		一般 AEP	一般 AEP	一般 AEP		一般 AEP
										
										
										
										
										

膜	下塗り	適用上塗り
ト塗り (EP) ンペイント塗り (GP) (VP) 料塗り 料塗り	ヤニガード[®]	AEP クリーン 70・60 ニューモルコン クロストップクリーン サニタリーコート AEP クリーンクロス AEP モダン 100 エコロクリーン グロリス

容 量

ヤニガード

白…………15kg
 4kg×4/ ケース

環境配慮形ヤニ・シミ止め標準塗替仕様（使用塗料はすべてF☆☆☆☆です。）

●ヤニ・シミ止め（オール水系）仕様
（つやなし仕上げ）

●塗替時の状況
部位：内壁・天井・上げ裏
下地：コンクリート・モルタル・せっこうボード・合板
旧塗膜面：ヤニ・シミ汚染

工程		塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整	●浮いた塗膜や付着が低下した塗膜、ごみ、著しい汚れなどは完全に除去して清浄な面にする。 ●きれつ、凹部箇所にパテ付けし、研磨紙（P120～240）でパテかい部を中心に均一にから研ぎする。 ●素地は十分に乾燥させる（含水率10%以下、pH10以下）					
2	下塗り	ヤニガード 清水	100 0～3	0.14～0.17	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
3	上塗り	AEPクリーン70※1 清水	100 5～15	0.12～0.14	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

※1 上塗りには、AEP クリーン 60、AEP クリーンも使用できます。

●ヤニ・シミ止め + 防かび性仕様
（つやなし仕上げ）

●塗替時の状況
部位：内壁・天井・上げ裏
下地：コンクリート・モルタル・せっこうボード・合板
旧塗膜面：著しいヤニ・シミ汚染

工程		塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整	●浮いた塗膜や付着が低下した塗膜、ごみ、著しい汚れなどは完全に除去して清浄な面にする。 ●きれつ、凹部箇所にパテ付けし、研磨紙（P120～240）でパテかい部を中心に均一にから研ぎする。 ●素地は十分に乾燥させる（含水率10%以下、pH10以下）					
2	下塗り	ヤニガード 清水	100 0～3	0.14～0.17	2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
3	上塗り	ニューモルコン 塗料用シンナー	100 5～30	0.11～0.14	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

●ヤニ・シミ止め + 可塑剤移行防止仕様
（つやなし仕上げ）

●塗替時の状況
部位：内壁・天井
下地：ビニルクロス
ビニルクロス面：ヤニ・シミ汚染

工程		塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整	●素地（ビニルクロス）表面に付着している汚れ、ほこりなどは、ウエス、ダスター刷毛などで取り除き、清浄な面にする。 ●表面に油汚れ、タバコのヤニなどが付着している場合は、洗剤などで十分に拭き取る。 ●かびが発生している箇所は、殺菌剤・防かび剤で処理する。 ●ビニルクロスのはがれ、浮きは、エマルジョン接着剤を用いて補修する。 ●ビニルクロスの破れ、傷は、エマルジョンパテまたは類似模様のビニルクロスで補修する。					
2	下塗り	ヤニガード 清水	100 0～3	0.14～0.17	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り
3	上塗り	クロストップクリーン 清水	100 0～5	0.12～0.15	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り

（注）布クロス、紙クロスやシリコン加工された特殊クロス（水をかけるとはじきます）には、塗装しないでください。

■仕様の各数値はすべて標準のものです。素地の状態、塗装方法などで多少異なります。素地が粗面の場合、模様による凹凸が大きい場合などは、塗付量が多くなります。残存の旧塗膜は、活膜であることを想定しています。

●ヤニ・シミ止め + 強力防かび性仕様
(つやなし仕上げ)

●塗替時の状況

部位：厨房・脱衣場
下地：コンクリート・モルタル・せっこうボード・合板
旧塗膜面：ヤニ・シミ・かび汚染

工程		塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整	●浮いた塗膜や付着が低下した塗膜、ごみ、著しい汚れなどは完全に除去して清浄な面にする。 ●きれつ、凹部箇所にパテ付けし、研磨紙（P120～240）でパテかい部を中心に均一にから研ぎする。 ●素地は十分に乾燥させる（含水率10%以下、pH10以下）					
2	下塗り	ヤニガード 清水	100 0～3	0.14～0.17	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
3	上塗り	サニタリーコート 塗料用シンナー	100 5～30	0.11～0.14	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

●ヤニ・シミ止め (つや有り仕上げ) 仕様

●塗替時の状況

部位：内壁・廊下壁・階段壁
下地：コンクリート・モルタル・せっこうボード・合板
旧塗膜面：ヤニ・シミ汚染

工程		塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整	●浮いた塗膜や付着が低下した塗膜、ごみ、著しい汚れなどは完全に除去して清浄な面にする。 ●きれつ、凹部箇所にパテ付けし、研磨紙（P120～240）でパテかい部を中心に均一にから研ぎする。 ●素地は十分に乾燥させる（含水率10%以下、pH10以下）					
2	下塗り	ヤニガード 清水	100 0～3	0.14～0.17	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
3	上塗り	AEPクリーニングロス※2 清水	100 5～15	0.12～0.16	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

※2 AEP クリーニングロスには、つや有り、7分つや、5分つや、3分つやの設定があります。

●ヤニ・シミ止め + 低汚染性仕様
(3分つや仕上げ)

●塗替時の状況

部位：内壁・廊下壁・階段壁
下地：コンクリート・モルタル・せっこうボード・合板
旧塗膜面：ヤニ・シミ汚染

工程		塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整	●浮いた塗膜や付着が低下した塗膜、ごみ、著しい汚れなどは完全に除去して清浄な面にする。 ●きれつ、凹部箇所にパテ付けし、研磨紙（P120～240）でパテかき部を中心に均一にから研ぎする。 ●素地は十分に乾燥させる（含水率10%以下、pH10以下）					
2	下塗り	ヤニガード 清水	100 0～3	0.14～0.17	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
3	上塗り	AEPモダン100 清水	100 5～15	0.13～0.16	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

●ヤニ・シミ止め + ホルムアルデヒド吸着 + 消臭仕様
(3分つや仕上げ)

●塗替時の状況

部位：内壁・天井
下地：コンクリート・モルタル・せっこうボード・合板
旧塗膜面：ヤニ・シミ汚染

工程		塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1	素地調整	●浮いた塗膜や付着が低下した塗膜、ごみ、著しい汚れなどは完全に除去して清浄な面にする。 ●きれつ、凹部箇所にパテ付けし、研磨紙（P120～240）でパテかき部を中心に均一にから研ぎする。 ●素地は十分に乾燥させる（含水率10%以下、pH10以下）					
2	下塗り	ヤニガード 清水	100 0～3	0.14～0.17	1～2	3時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り
3	上塗り	エコロクリーン 清水	100 5～10	0.12～0.14	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ローラー塗り スプレー塗り

■仕様の各数値はすべて標準のものです。素地の状態、塗装方法などで多少異なります。素地が粗面の場合、模様による凹凸が大きい場合などは、塗付量が多くなります。残存の旧塗膜は、活膜であることを想定しています。

塗装上の注意事項

- 一般の水性塗料と絶対に混ざらないでください。また調色はできません。
- 塗装前に十分かくはんし、できるだけ無希釈でご使用ください。規定量以上の水希釈は性能に影響しますので避けてください。
- 低温（5℃以下）、高湿度（85%以上）での塗装は避けてください。
- 著しいたばこのヤニ・落書きなどは、水またはシンナーなどで拭き取り、事前にヤニガードで、その面を拾い塗りしてください。
- 素地が新しい合板の場合は、2回塗りしてください。
- 上塗りまでの塗装間隔時間は厳守してください。
- 一般の水性塗料に用いたはけ・ローラーなどの塗装用具を共用されますと、固まることがありますので避けてください。
- 造膜時に結露・凍結などが生じますと流れやちぢみの原因になりますので、天候・気温には留意してください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻タオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から出し入れするときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当る場所・高温多湿の場所・潮風の当る場所・凍結の恐れのある場所（5℃以下）など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

ISO 9001 認証取得



札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
仙台出張所 ☎0224-82-1633	郡山出張所 ☎024-956-3306	新潟営業所 ☎025-271-2345
北関東営業所 ☎0493-57-0020	千葉出張所 ☎043-486-0096	多摩出張所 ☎042-581-2155
金沢営業所 ☎076-267-1922	静岡営業所 ☎054-236-0825	三重出張所 ☎059-397-6115
平野営業所 ☎06-6791-6291	播磨営業所 ☎0791-67-1468	松山出張所 ☎089-905-6733
熊本出張所 ☎096-237-3342	宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-264-3661
沖縄営業所 ☎098-884-6054		

取扱店